

※ビデオの翻訳ですが、途中意味不明な箇所は直訳になっています。

内戦は反乱軍の完全な勝利で終結しました。

1936年7月に共和国に対するクーデターで始まった戦いは独裁政権の樹立で終わりました。
その指導者はフランシスコ・フランコ総統です。

スペイン万歳！スペイン万歳！ほぼ3年間の激しい戦闘によりスペインは壊滅しました。
内戦で10万人以上の兵士が死亡、前線から遠く離れた場所で20万人以上の民間人が殺害されました。

爆撃、銃撃、弾圧により何千人ものスペイン人が虐殺されました。
共和国の防衛者たちは敗北し迫害され、亡命します。
50万人以上のスペイン人が祖国を後にします。
二度と戻らない人もたくさんいます。一方、戦争の勝者は、指導者とその軍隊に敬意を表して、
式典、イベント、大規模なパレードで勝利を祝います。

スペイン国家元首は、在郷軍人会の門を視察し、ロシア人（共産主義者）の存在によって
自分たちの歴史と文化が侵略されたと感じている兵士たちに壇上から演説しました。

1939年3月までにフランコは、ソ連と共産主義に対抗するためにドイツ、イタリア、日本が力を
合わせた協定である防共協定にすでに加盟していました。そして1939年5月、フランコは
ムッソリーニとの約束を果たし、スペインは国際連盟を脱退しました。
その月、指導者は反乱軍と共に戦いました。ドイツ軍部隊であるコンドル軍団を解散させました。

彼らの飛行機はゲルニカや他の多くの町や都市を爆撃しました。
ドイツでは彼は英雄として迎えられ、ヒトラーの前でパレードが行われました。
彼の参謀長はヴォルフラム・フォン・リヒトホーフェン大佐です。

わずか4か月後、フォン・リヒトホーフェンはポーランド侵攻に参加しました。
これが第二次世界大戦の引き金となります。同盟国であるにもかかわらず、フランコのスペインは
ヒトラーやムッソリーニと共に戦う立場にはありません。
(※おそらく長い内戦により国内経済が疲弊していることを伝えたいのかと思います。)

3年間の内戦により、国は荒廃し、貧困と飢餓に陥った。戦争の惨禍は町や都市でも感じられます。
国民はあらゆる種類の不足と困難に苦しんでいます。
この状況を緩和するために、フランコ政権は食糧と生活必需品の配給制を導入しました。
2冊の小冊子が作成されます。

1つは肉用、もう1つは残りの食べ物用です。毎週の配給量は少なく、製品の品質も悪いです。
今は、トウモロコシやライ麦から作られた黒パン、イナゴマメ粉を使ったお粥、卵を使わない
トルティーヤなどの代替品が役立つ時代です。
配給制により、戦後のスペインではエストラペルロとして知られる違法取引が盛んになりました。
多くの製品は闇市場で正規品よりもはるかに高い価格で販売されています。
不足と貧困により病気と死亡率が増大します。

戦争後の最初の5年間で、約20万人のスペイン人が飢餓で亡くなりました。
赤痢、マラリア、チフス、結核など、根絶されたと思われていた病気が再び流行し、
「結核にかかっている私たちが一番楽しい」という歌を子供たちが歌うほど流行しています。
私たちの体は腐り、肺は蝕まれています。

フランコ政権は、スペインを自給自足の国にすることを目指す経済政策である
自給自足政策を実施した。必要な物資をすべて生産することが目標であり、
民間企業による輸入には障害が設けられています。しかし、この国は自給自足には程遠い。
国民のニーズはほとんど満たされず、米国と英国からの供給に頼っています。
エネルギー不足と天然資源の不足は当時の悲劇でした。停電や断水はどの家庭でもよくあることです。

火祭りのような人気の祭りでもこの状況が反映されています。マーケット広場のファリャは
最も芸術的で独創的であると評価されて賞を受賞し、そのテーマは現在の電力制限に関連していました。
(※ここは直訳で、意味がよくわかりません)

言葉の制限は配給制と同じくらい一般的になるでしょう。
(※カタルーニャ語など使用禁止となった言語があります。)

今は自走式の自動車、ペダルカーの時代です。電気バッテリーで動くタクシー。
そして特にガス発生器は、車の後ろに取り付けられ、木材、石炭、または
その他の可燃性廃棄物を燃やす装置です。

必要性和絶望が、空想とクレイジーなプロジェクトに翼を与えます。
1942年、政権は全国の映画館で鑑賞が義務付けられる週刊ニュース映画を制作した。
「ノード」は宣伝と社会化のためのツールになります。

それはフランコ政権下のスペインの牧歌的なイメージと政権のニーズに合った
世界観を投影するでしょう。「ノード」は労働者階級向けのオーディオビジュアル
雑誌にもなります。フランコ主義の神話、象徴、儀式は現実と共存しています。
国内外のニュースと共存しています。
スポーツ、文化、社会史、そしてチェスの天才アルトゥリト・ポマールのような
政権の模範的な人物に関するレポートがあります。

アルトゥリト・ポマールは11歳で、スペインの準優勝者であるフエンテスとの
エキシビジョンゲームで勝利した素晴らしいチェスプレイヤーでもあります。